

2021.10.7  
(2021.10.7 発売)

社殿の再建が進む清神社 檜葉町前原

## 被災の清神社 再建へ一歩

### 檜葉で上棟祭 大阪の企業、無償協力

東日本大震災で被災した檜葉町の清神社で6日、再建中の社殿の骨組みが完成し、上棟祭があった。大阪市の住宅会社グループが復興支援として無償で建て直しており、11月にも完成する予定だ。

清神社は海岸から約800㍍の位置にあり、津波で床上浸水した。町の避難指示が2015年9月に解除され宮司の宇佐神正道さん(66)らが戻ったとき社殿の傷みがひどく、解体して再建することを決めた。

震災10年の節目に再建したかったが、資金難でめどが立たなかった。そこへ支援の手を差し伸べたのが、創建グループだった。

神社の再建には約4千万円かか

る。同社は18年から、毎年1棟のペースで各地の神社を無償で再建してきた。双葉町の諏訪神社のほか、熊本や宮城などに続いて今回が4例目だ。

震災前には清神社周辺に約100戸の氏子がいたが、現在は約30戸。宇佐神さんは「檜葉に戻ったときに交流する場になってほしい。祭りも復活させたい」。氏子総代表の梶原活司さん(56)は「小さな祠でもいいから再建したかった。奇跡だ」と笑顔をみせた。

創建の吉村孝文会長(72)は「社員はこの活動を誇りに思っている。今後も続けたい」と話している。(長屋護)